

スナップ・コア・ファーストという VOCA のソフトの日本語化を手伝いました

クレアクトという会社がスナップ・コア・ファースト（以下スナップ）を日本語化するということで、そのお手伝いをさせていただきました。

スナップは、「エビデンスに基づく製品設計」の設計思想で、米国、北欧諸国、イギリス、ドイツなどの研究者の科学的な研究のエビデンス、現場の経験と専門家の意見、ユーザーや保護者、介助者のフィードバックを結集して、一生涯続くコミュニケーションと言語の発達において伴走者として活躍できるように作られたものです。

その日本語版であるスナップは、設計思想と構造はそのままに、日本語と日本の生活、文化に対応し、家庭や教育の現場ですぐに使えるようにするためにクレアクトと共同開発したものです。

重い音声表出障害のある人は、自分の意志を表現することができない状況にあります。そのような人に対しては、その人の置かれている環境や行動の様子から支援者が意思を汲み取って、変わって表現するという方法が主だったように思います。しかし、これは自己決定とは言えません。自己決定や自己選択が大切だと分かっているにもかかわらず、それを実現するための方法を知らなかったということだと思えます。

スナップは、重い音声表出障害のある人の自己決定や自己選択、意思の表明を保障していく可能性のあるソフトです。簡単なスイッチ操作一つで自分の意思を伝えることができるようになるかもしれないからです。

スナップには 10000 語以上の語彙が入っています。小学校や中学校、高等学校でも授業中に活用することができるくらい語彙が入っているのです。色々なことが分かっているのだけれど、表出することができない人にとっては、この語彙を表出できるということは大きな魅力です。

もちろん、知的に重い障害のある人も、表示させる画面を工夫することで、人に伝わったという経験を積むことができます。この経験の繰り返しで、自己決定や自己選択につながっていくはずで、特に人に伝える経験ができるということで、命令ゲームのページというものがあらかじめセットされています。



ここには、身近な人に対して行動を命令する言葉が入っているのです。「倒れて」「笑って」「跳んで」などの言葉です。この言葉を発すると、周囲の人達が指示されたように動くわけです。人を動かした経験が少ない人たちが、自分の言葉で周囲の人を動かす経験ができるということです。可能性は無限大です。スナップで楽しくコミュニケーションしてみてもはどうでしょうか。

問い合わせは

<https://www.creact.co.jp/item/welfare/assistive-sw/tobii-snap/snap-top>

(株)クレアクト

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-8-13 五反田増島ビル 4 階

電話：03-3442-5401

～坂井聡先生の紹介～

((プロフィール))

香川大学教育学部卒業 金沢大学大学院教育学研究科修了、香川大学教育学部附属養護学校など養護学校教諭を経て、現在香川大学教育学部障害児教育コース准教授。1997年には自閉症のコミュニケーション指導で辻村奨励賞受賞。2013年より教授に就任。